



第 136 号

千葉市肢体不自由児者父母の会
会長 西長 和子
編集人 父母の会広報部
千葉市美浜区磯辺 2-21-1
TEL・FAX 043(303)0582
fubonokai@ia4.itkeeper.ne.jp

研修会

障害児者の育て方・見守り方

平成30年6月28日(木)、ディアフレンズ美浜2階の地域交流スペースにて、「障害児者の育て方・見守り方」をテーマに、千葉健生病院発達外来心理士の井出みどり先生による勉強会を行いました。参加者は22名、その他にディアフレンズ美浜の職員の方も参加して



くださいました。井出先生は、近隣の地域でも多数講演会等を行っていただきます。事前に会員の皆様から募った質問を伝え、その質問を中心にお話をしていただきました。

手作りの解説資料はイラストもあり、具体例が豊富で大変分かり易く、「うちの子もこんな感じだけども」そんな感想を持った方もいらっしやいました。

限られた時間の中で、大変中味の濃い勉強会となりました。

資料とお話の抜粋として
【障害児者にはいろいろな不思議がある】

○知能指数だけではわからない不思議な能力↓それは付き合えないとわからない。得意なことはよく覚えるアンバランスのすごさ。

○感覚刺激の癖について↓高等部を出てからの癖は付き合う覚悟がいる。差し向かい一生付き合う。穏やかな時はわからないが人間はそんなに上手くない。癖は付き合わなければならぬ。○年齢と共に上がる「相手の気持ちを

読む力」↓年齢と共にのこる気持ちを読む力。お決まりよりもスキルアップ。まずい癖は場面を変える。

○意外に頑固でこだわり系
張り付き現象の不思議「特定の場面になると必ず特定の行動が生じる」↓自信をもって動かない。

テレビ・DVD・動画等について↓使い方はケースバイケース。初期設定が重要。のめり込まないほうが良い場合もある。

無駄な叱り方よりも場面回避、場の設定の工夫を。

○何歳になっても反抗期
ポンーと切り替える↓意地の張り合いをする位なら冷静にゆずる。たんとんと手伝う。

頑固な相手には柔軟な対応を↓意地の張り合いをしない。相手により別人になる不思議。こだわる、こだわり、それぞれで見抜くと特定の場面で気持ちさがざわざわする場面がある。

○調子の波の不思議↓調子の波をみて柔軟に対応する。

【本日の自立、本日の訓練】
○自立とは「なんでも自分でできるようになること」ではない。↓本日の自立とは穏やかで生き生きと毎日を過ごすこと。

○本日の訓練は日常生活の中にある。

【そして親も歳をとって行く】
○大丈夫、いざとなったら何とかあります。でも、そのために出来るだけ沢山の人々と繋がっておきましょう。それが親亡き後の子どもへの最大のプレゼントです。↓いろいろな人と繋がっている人は強い。
(西長和子)

参加者の感想

自閉症・発達障害に関心があり、研修を拝聴いたしました。研修では、知能指数だけでは測れない障害児・者の能力のこと、相手に対して一貫性を保つ(意地を張り合う)より、逃げる・譲る方が有効などがありました。親と障害がある子の日常は絶妙な駆け引きの連続だと感じ、大変興味深く勉強になりました。

(ディアフレンズ美浜職員 秋元伸一)

娘は反抗することや、わざと…するといったことはしないのですが、いつ何時でも、親は柔軟な対応を心がける、これは大切なことだと思いました。井出先生より、多くのコツをご指導いただき、日頃の生活に生かしていきたいと思えます。
(橋本美保子)

これからの行事予定

☆ハンドマッサー

日時 1月29日(火)10時半〜12時
場所 ハーモニープラザ2階 男女
共同企画センター研究室A2

☆ふれあいコンサート

日時 2月10日(日)13時半〜
場所 ハーモニープラザ
イベントホール

☆ライフステージを考える会研修会

日時 3月13日(水)10時〜12時
場所 千葉市中央
コミュニティーセンター

皆様のご参加お待ちしております。

保護者の親睦旅行

「はとバス」ツアー

平成30年6月21日(木)

梅雨の晴れ間となった6月21日(木)、参加者12名で東京駅を出発しました。美人バスガイドさんのお話を聞きながら眺める都内の景色は新鮮で、あつという間に帝国ホテルに到着しました。

バイキング発祥の地の名前もうらぎらない豪華な品揃えの食事を堪能し、再びバスに乗り込み次は東京タワーの見学をしました。展望台からの景色はスカイツリーに負けない迫力です。

その後、竹芝からシンフォニーに乗船し東京湾クルーズでしめくり。船内ではコーヒーとお菓子をいただいた後、船内の散策をされる方々もいました。

はとバスの一日観光に初参加の方も、二度目の方からも「また参加したい。」との声をいただき楽しい一日をすごすことができました。(厚生部 浅野)



● 親睦旅行に参加して ●

はとバスで東京見学。「行こうよ」友に誘われ出かけました。東京駅集合でバスに乗り、ガイドさんの説明を受けながら日本橋、銀座、浅草等内をぐるり一周。

お昼は帝国ホテルでわくわくのランチバイキング。評判のローストビーフにカレー、食べるのいやと思っていたエスカルゴ、色とりどりの料理にデザート、目移りしてお腹と相談しながら選ぶのに苦労しました。

午後は東京タワーに登り、修学旅行の子供達と一緒に、昔、同じ様な事があったなあ。その後東京湾クルーズも有り、和気あいあいと盛り沢山の一日でした。皆様ありがとうございました。(平子愛子)



施設見学

「みらい工房だいち」



10月17日(水)に参加者9名で、中央区赤井町の「みらい工房だいち」へ施設見学に行きました。

10時半より理事長の平井様から「みらい工房」の歩み、事業内容、今後の展望等のお話を伺いました。とても熱心に語られて、時間をオーバーするほどでした。その後、施設内と昼食の様子を見学しました。

みらい工房だいちは、生活介護40名放課後デイサービス10名を実施しており、ドアアウトドアの送迎、機械浴と普通入浴があり、利用者の方は農業、木工、園芸の作業をしているそうです。

子どもたちの進路選択について考える良い機会となりました。(研修部 山中)

● 参加者の声 ●

息子が通所していますが、学校と違い授業参観等もないので、今回参加させて頂きました。みらい工房の中でもだいちには、バリアフリーで希望すれば入浴もでき、作業室は3部屋に区切る事ができる等、考えられた作りです。

利用者は皆それぞれに元気に活動していました。(脇屋淳子)

卒業はまだ先だと思っていました。が中学生になり、卒業後の通所施設はどのような所があるのか参考になればと思い参加しました。施設の説明だけでなく今の行政サービスの話や福祉に対する熱い想いを聞くことが出来、とても有難く、勉強になりました。娘の将来を考える良い機会になりました。(伊東薫)



ゆったりくつろぐ利用者さん

夏期休暇支援

8月2日(木)ハーモニープラザにて夏期休暇支援を開催しました。

午前中は多目的ホールで竹内先生の音楽療法を、お昼を頂いてから午後は調理室でおやつクッキングを行いました。親子参加で午前が桜が丘3組、袖ヶ浦4組、他に学生ボランティアさん5名に参加頂きました。音楽療法は、楽器を触って鳴らしたり、音楽に合わせて色々な形のパラバルーンで遊んだ



みんなで笑顔で楽しみました

りました。おやつクッキングは、クッキー、トライフルを作りました。午後も午後大変好評で、皆さんの笑顔がとても印象的でした。暑い中多くの皆さんにご参加頂きありがとうございました。

(行事部 野田)

参加者の声

人見知りなのか、息子は今年も泣いてしまい、もう来年からは参加を見送ろうかと心が折れかけた母ですが、先生を始め、皆さんに温かく見守って頂いたお陰で、後半皆さんの輪の中に入ることが出来て、参加した甲斐がありました。学校が違うお子さんの兄弟くんがさりげなく楽器を持って来てくれたりして、そういったことも嬉しく思いました。

(中込暢子)



美味しいおやつが出来上がりました

子どもが楽しかった月と言っていたので参加して良かったです。親としては袖ヶ浦の方と、もう少し交流すれば良かったなと思いました。

(吉田美奈子)

プール事業報告

ハーモニープラザの水浴訓練室で月1回活動しています。

今年も6・7・8月とNPO法人「ゆめけん」のコーチをお招きして、楽しく過ごしました。プールは、身も心も解放されリラクゼーションとして最適です。毎月の利用のない方も、夏休みだけでも是非参加してみてください。子ども達のキラキラした良い表情を見ることが出来ますよ！

(池上)



文化祭

10月27日(土)、桜が丘特別支援学校、11月10日(土)、袖ヶ浦特別支援学校の文化祭に出店しました。

手作り品等の提供は随時受け付けています。これからもよろしくお願ひします。



● 袖ヶ浦特別支援学校



● 桜が丘特別支援学校

活動報告

- 7月7日 関ブロ 山梨大会
- 8月2日 夏期休暇支援
音楽療法&おやつ作り
- 10月17日 施設見学
みらい工房だいち
- 10月27日 文化祭バザー出店
(桜が丘特別支援学校)
- 11月10日 文化祭バザー出店
(袖ヶ浦特別支援学校)
- 11月15日 育成旅行(藤子・F・不二雄ミュージアム)
- 11月17日 バザー出店(ハーモニープラザフェスタ)
- 12月1日 千葉県障害者福祉大会

表彰

千葉県社会福祉協議会会長賞

菊池 恵美さん

永年にわたり尽力された功績が認められました。



第20回千葉市障害者福祉大会

12月1日(土)、ハーモニープラザ多目的ホールにおいて、第20回千葉市障害者福祉大会が開催されました。

スポーツコメンテーターで、400mハイドル日本記録保持者でもある為末大さんのお話に、楽しい時間を過ごすことができました。

ウィンズめーる



江波戸玲子

中1の息子が、手術と訓練の為、千葉リハの愛育園に約3ヶ月の予定で入園しています。

障害の程度は身体・知的共に重度ですが、幸い健康に恵まれていたので入院経験はほとんどなく、これほど長く自宅を離れることは初めてです。

入園中も千葉リハから廊下続きで通い慣れた学校へ行けるのが魅力です。しかし、家へ帰れない、管理された園での生活に戸惑いや不安があったと思います。

昨年から短期入所で何度かお試していた甲斐もあって、泣くことはありませんでしたが、食事を拒否したり夜なかなか寝ないで職員の方々の手をわずらわせました。いつも元気な息子が、学校でしょんぼりしていたり、ボーッとしていたとも聞きました。

心配でたまらず、当初は毎日の様に会いに行きましたが、1ヶ月程すると徐々に慣れてきた様子で、息子にもいつもの活気が戻ってきました。

食事は今でもムラがあり、介助する相手によっても息子の食の進みに違いがあるようです。私もできる時は食事介助に行き、ご飯を汁物に浸すと食べやすいようだとか、拒否した時は一度

タイミングを外すとか1つ物を変えるとかよい等、職員の方に伝える様にしました。

気が早いかもしれませんが、将来いつかは息子を自宅でみてあげられなくなる時がきます。生活の場が変わる事は、非常にストレスを感じるはずですが、息子はいくつかのジュエスチャーや単語で多少コミュニケーションは取れるものの、自分の思いを言葉で伝える事はできません。

今回の入園は、息子が将来家族と離れて暮らすとどうなるかを考えるよい機会となりました。介助する人の負担が減らせる様に、息子が自分でできることを少しでも増やせたらと思います。息子への理解を深めてもらえる様に職員の方とコミュニケーションを取って特性を伝えていきたいです。

ハーモニープラザフェスタフリーマーケット

11月17日(土)に、フリーマーケットに参加しました。

皆様に多くの品物を提供していただき、盛況の内に終わることができました。



ご協力ありがとうございました。これからも、よろしく願いいたします。

あとがき

師走ですね。12月は師も走り回る程忙しいと言われていますが、年末は私達、お母さんにとっても忙しい季節です。



家族に歓声で迎えられたクリスマスツリーを、ひとり寂しく片付けるとすぐに大そうじがやってきました。一年間見て見ぬふりをしてきた部屋の汚れ達、こんなことなら日頃から、時間のないの言い訳に、人目に触れる所だけさっと済ませて強制終了。あ、年賀状まだ書いてなかった！お餅も買いに行かねば...と焦る間もなく大みそか。家族が見ている紅白歌合戦を背中であんなながらの年越しソバ作り。私の母などは、これでおせち料理も手作りしていたんだから、昔のお母さんってホント偉かったですよね。

年末こうして走り続けたお母さんがようやく休めるのは、家族が会社や学校の日常に戻っていくお正月あけ。平和を取り戻した広い家の中でのんびりお昼寝でもしましょうか。

皆様も残り少ない今年を頑張って走り抜けていって下さい。それではよいお年を！

(箱)